

平成24年度 第4回 江別市自治基本条例検討委員会

会議録（要点筆記）

日 時：平成24年11月14日(水) 9時30分～11時35分

場 所：市民会館 21号室

出席者：(委員) 7名

石黒委員長、山元副委員長、粕谷委員、高橋委員、田口委員、東宮委員、
山本委員

事務局：7名

企画政策部：鈴木部長、米倉次長、川島課長、酒井主査、稲田主査、
竹下主任、

生活環境部：佐々木主査

【内容】

第5章「行政運営」第6章「情報共有の推進」について検討作業を進めた。

【資料】

- ・資料1：検討委員会での意見集約結果（第3回まで）
- ・資料2：市民協働のまちづくり推進方針
- ・資料3：5つの街づくりについての基本項目
- ・資料4：平成23年度自治会に関するアンケート集計結果（平成23年6月実施）

委員からの主な意見

●第5章「行政運営」について

《第17条:危機管理・防災について》

- 各自治会の防災訓練などを他の自治会へ周知し公開することで、情報共有を図ることが必要である。
- 高齢化、テナントが多い地域は、実際に災害が起きた時にどれ位の人数が動くことができるのかを把握し、情報共有することが必要である。
- 危機意識を常に持ち続けることが大事であり、そういう機会をつくることも大切である。

●第6章「情報共有の推進」について

- 行政情報だけではなく、緊急性の高い災害などの情報共有が求められる。

- 情報共有のために自治会の活動の中で上手く情報発信できるとよい。
- 「絵で見る江別市予算案」のように、提供する情報はより分かりやすくするための配慮が必要である。そうすることで中身を理解され、意見が出しやすくなる。
- 現状の情報公開制度は複雑ではないが、情報提供の充実と仕組みの整理をする必要がある。
- 適切な保護を図りながら必要な情報を得られるようにという意味では途上の部分もあるので、常に市民ニーズに適合するより良い方法を工夫する必要がある。

●全体を通して

- 「絵で見る江別市予算案」は非常に分かりやすい。条例の解説にイラストなどを用い読み手に取って見やすくする工夫をすると認知度が上がるのではないかな。
- 条例に興味を持ってもらうために、条例に基づいて行った面白い取り組みについての情報を発信すると効果的である。
- 防災訓練を始め、ありきたりのスタイルだけでは地域全体に適切な対応はできない。基本は個別の地域の部分の意識であり、自分達で具体的な方策を立て実践していくことが大切であり必要である。

決定事項

●次回検討内容について

- 第5回は前文、第8章、第9章、第10章、第11章とする。

確認事項

●今後の検討作業について

- 第5回で条文の検討は一通り終了する。第6回検討作業で条文全体を再度検討し、提言書のたたき台作成のための議論を行う。それを受けて委員長と事務局にて提言書案を作成し、第7回で検討する。